

教科目標

○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本の領土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点及び趣旨

	① 知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
地理的分野	○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
歴史的分野	○日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元名	単元の目標	評価方法
4	≪地理的分野≫ 世界の地域構成	① 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ② 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト 単元シート ワーク
5	≪地理的分野≫ 日本の地域構成	① 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。	定期テスト 確認テスト

6		<p>② 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する 島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	単元シート ワーク
	<p>《地理的分野》 世界の様々な地域</p>	<p>① 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布についても理解する。</p> <p>② 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	定期テスト 確認テスト 単元シート ワーク
7			
9	<p>《地理的分野》 世界の諸地域</p>	<p>①—(1) 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。</p> <p>①—(2) アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。</p> <p>② アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ 単元シート ワーク
10	<p>《歴史的分野》 ○歴史との対話</p>	<p>① 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 資料から歴史にかかわる情報を読み取ったり、年表にまとめたりするなどの技能を身に付ける。</p> <p>② 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現する。</p>	定期テスト 確認テスト 単元シート ワーク
11			
12	<p>《歴史的分野》 古代国家の成立と東アジア</p>	<p>① —(1) 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。</p> <p>① —(2) 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。</p> <p>① —(3) 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。</p> <p>① —(4) 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解する。</p> <p>② 古代までの日本を大観して、時代の特色や社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究する。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ 単元シート ワーク
1	<p>《歴史的分野》 武家政権の成長と東アジア</p>	<p>① —(1) 鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを</p>	定期テスト 確認テスト

2		<p>理解する。</p> <p>① ー (2) 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。</p> <p>① ー (3) 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。</p> <p>② 中世の日本を大観して、時代の特色や社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	ポートフォリオ 単元シート ワーク
	3	<p>① 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとの関わりの中で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p>② 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心を持ち、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。</p>	レポート
	<p>《歴史的分野》 ○歴史との対話</p>		

定期テスト範囲 (予定)

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
○世界と日本の地域構成 ○世界の様々な地域	○世界の諸地域 (アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州)	○世界の諸地域 (南北アメリカ州・オセアニア州) ○歴史との対話	○古代国家の成立と東アジア ○武家政権の成長と東アジア

学習上のアドバイス

授業について

- ① 空所補充は色シートで消えるオレンジ色のペンを使用してください。プリントに積極的にメモを取り、気になった点は質問しましょう。
- ② 自分の意見を発表したり、級友と話し合ったりする場面があります。積極的に参加しましょう。
- ③ 白地図の作成で色鉛筆またはカラーペンを使用することがあります。用意しておきましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 授業があった日や週末にワークやスタディサブリを活用して学習内容を復習しましょう。
- ② 小テストに向けて学習を積み重ねていくことで、定期テストの得点アップにつなげましょう。
- ③ ノートまとめにまとめる、ワークを本体に解くなど工夫しましょう。

その他

- ① 用語集の販売を行います。必要な人は購入し、授業や復習に活用しましょう。